

講義名称	日本語教育A	担当教員名	森田 恵
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	日本語 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	HUM181

授業のキーワード	日本語教育 日本語の特性 言語の習得
授業の概要	日本語教育とはどんなものかイメージをつかみます。 ふだん何気なく使っている日本語を「外国語」という視点から学びます。 言語を習得するとはどういうことか、どんなふう習得するのか考えます。
期待される学習成果 (目標)	1. 日常の言葉づかいや話し方を見直すことができます。 2. 日本語を観察し、特性を考えることで、「言語」を客観的に捉えることができます。 3. 多文化共生社会における自分の役割が見えてきます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	日本語教育とは	講義の概要説明と日本語教育の社会的意義を考えます。
2	日本語教育の内容	日本語教育とはどんなことを教えるのでしょうか。
3	学習者の背景	学習者にはどんな人がいて、どんな学習が必要なのでしょうか。
4	日本語教育の場	日本語教育への様々な関わり方や求められる役割を考えます。
5	言語としての日本語	世界の言語の中で日本語はどんな類型に属し、どんな特性があるのでしょうか。
6	日本語の音声 1	日本語のリズムや発音を音声学の観点から考えます。
7	日本語の音声 2	日本語アクセントの特徴とイントネーションについて学びます。
8	文字・表記	文字と書き方の基準を知り、効果的な学習方法を考えます。
9	語彙	語彙の種類や構成など、日本語の語彙が持つ特性を知ります。
10	社会言語学 1	社会の様々な要因による言葉の変化と敬語。
11	社会言語学 2	言語接触と「やさしい日本語」について考えます。
12	第二言語習得	言語習得の観点から、学習者とのやりとりの方法を考えます。
13	学習ストラテジー	言語学習における学習者自身の方策はどのようなものがあるか学びます。
14	グループワーク	対象者別の日本語学習方法をグループで考えます。
15	まとめ	発表と講評／講義全体の振り返り

定期試験	中間レポート 期末レポート
授業時間外学習	予習：毎回、次の講義テーマに関係した質問を出すので、各自考えてください。(30分～1時間) 復習：資料やワークシートを再読し、理解を深めます。復習課題を出す場合もあります。(30分～1時間)
評価方法	授業への取り組み姿勢20% 中間レポート30% 期末レポート50% レポートは講義の内容を理解し、自分の意見が述べられているかどうかをみます。
使用する教科書 (必ず購入してください)	特になし 毎回プリントを配布します。また、参考図書やサイトを必要に応じて紹介しま
参考文献	「新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識 増補改訂版」 高見澤孟監修 アスク出版